

おおむた 市議会だより

第208号

平成30年度
2月・3月議会

令和元年(2019年)5月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成26年度以降

スマートフォン、
タブレットでも
見れるようになりました。

ザ レール キッチン チクゴ
西鉄観光列車「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」

3月23日 運行開始

【主な記事】

- 新年度予算、多種多様な議論・要望／ぎかいの話題(2ページ)
- 議会からの意見・要望に対する市長からの回答／ぎかいの話題(3ページ)
- 映画「いのちスケッチ」／おおむた自慢(12ページ)

お知らせ

市議会議員選挙が行われ、5月2日より大牟田市議会は新たな体制となります。
新体制については、次号でお知らせします。

ぎかいの話題

新年度予算、多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会（徳永春男委員長、今村智津子副委員長）を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月11日から18日までの実質6日間で慎重に審査を行いました。

市庁舎整備に関すること、（仮称）大牟田未来共創センター、絵本ギャラリー整備、学童保育所・クラブ、病後児保育事業、三池港に関することなど多種多様な面から活発な議論が交わされました。

審査の結果、庁舎整備事業への意見等が相次ぎ、平成31年度一般会計予算については、原案に対して庁舎整備事業費を削減する修正案が議員から提出され、その後の本会議でも修正案が可決されました。

平成31年度一般会計予算を修正、関係条例案を否決

市長から提案された平成31年度の一般会計予算について、歳出の総務管理費を1,600万円減額し、その減額分1,600万円を同じく歳出の予備費に加える修正を行いました。具体的には、庁舎整備事業費を削減する内容です。

また、関係する審議会の設置条例案を否決しました。

修正の理由

今後も見込まれる厳しい財政状況の中、市民とともに乗り越えるには、市民との信頼関係が不可欠ですが、現在提案の市庁舎整備に関する基本方針案は、一定の理解ができるものの、市庁舎本館の取り扱いを含め、十分な市民理解を得ているとは言えません。

また、より具体的かつ客観性の高い調査・研究など、さらなる検討が必要と考えることから、現時点においては、この方針案に基づく事業の推進を了承しがたいとして、31年度予算に計上された庁舎整備事業費を削減するものです。

予算特別委員会の 主な意見・要望（抜粋）

●絵本ギャラリー整備

動物園への影響など、様々な不安の声も多いことから、市民への十分な周知と理解を得た上で進められたい。

また、専門職の人材確保にも努められたい。

●シティプロモーション推進

ジャー坊に特化した情報発信だけではなく、戦略に基づく事業を構築されたい。

●生活保護行政

より適切なケースワークを実現するためにも、人員体制の強化を図られたい。

●地域包括支援センター運営

専門職の確保が困難な状況であることから、全センターが円滑に運営されるよう配慮されたい。

●（仮称）大牟田未来共創センター

地域包括支援センター事業などの課題解決にも取り組んだ上で、関係団体とも協議し慎重に事業を進められたい。

●学童保育所・クラブ

夏休み期間も含め、ニーズに合った受け入れができるよう検討し、充実を図られたい。

●病後児保育事業

様々な課題はあるが、病児保育事業とあわせて事業の再

開ができるよう関係機関と連携・協議を図られたい。

●消防団員加入促進事業

市民の安心安全を守るための活躍を広く市民に周知するなどして、消防団員の確保に努められたい。

●空き家対策推進事業

これまでの事業実績等を活用したソフト面の支援策を含めて、空き家の適正管理、予防、利活用に向けたさらなる事業の推進を図られたい。

●三池港とその周辺整備

重要港湾としての利用促進、市民に親しまれる港となるよう、市民や議会への情報提供、意見集約を適宜行われたい。

議会からの意見・要望に対する 市長からの回答

平成30年8月の議会報告会、9月の決算特別委員会、まちづくり・活性化特別委員会で議論された意見・要望の中から、以下の項目を30年11月に議会の総意として市長に提出し回答を求めていましたが、次のとおり平成31年2月に市長から回答がありました。

要望と回答（要約）

1. 保健所の設置主体の変更

届出など市民の利用がどう変わるのか、具体的に説明してほしい。
県へ移管されても、出張所や分庁舎を設置するなどして、市民サービスが低下しないようにしてほしい。

【回答】

今後、国の政令改正後に移行準備が進められる。市民への影響を検討し対応を県と協議していく。
市民の健康相談や保健指導などの地域保健を担う(仮称)保健センターの設置を検討している。

2. 小中学校の特別教室等へのエアコン設置

各学校の意向調査も行いながら、国等の有利な財源が確保できる場合にも即応できるよう、設置計画の策定など準備を進められたい。

【回答】

財源の検討、近隣自治体の状況、各学校への設置希望教室の調査を行った結果、子どもたちの健康上の安全を守り快適な学習環境づくりをより一層進めるため、31年度に各学校1教室ずつ設置することとした。

3. 病後児保育事業

現在、休止状態のため、早期に再開できるよう一層努力されたい。
病児保育事業についても、子育てと仕事の両立を支援するためにも、実施に向けて取り組まれたい。

【回答】

病後児保育事業の必要性は十分認識しており、保育士確保などの課題もあるが、早期再開に向けて引き続き委託事業者の確保に努める。
病児保育事業は、小児科医が減少する中での実施は大変厳しい状況。

4. 学童保育所・クラブの充実

学童保育所・クラブに関する調査などの結果や分析・検証を所管委員会に報告するとともに、さらなる充実に向け、利用時間の延長を含め、31年度予算へ反映されたい。

【回答】

各調査の分析・検証結果について

では、取り組み状況等を含め、所管常任委員会へ報告を行う。

利用時間の延長については、支援員の労働条件の変更や新たな人員、財源の確保等の課題もあり、関係者との協議・検討を進めている。

5. 様々な課題を抱える子供たちへの支援

小中学校におけるスクールソーシャルワーカーのさらなる充実に向け、体制強化を図られたい。

子育て世代包括支援センターにおいても、様々な課題解決に向けて関係機関と連携を図るためにも、ソーシャルワーカーを配置されたい。

【回答】

増員や高度な専門機関との連携など、児童生徒・保護者等への支援の充実に図っており、今後もスクールソーシャルワーカーの適切な配置に努めていく。

子育て世代包括支援センターは、専門職員のほか、医療機関・児童家庭相談室との連携や、子ども支援ネットワークを活用し課題解決に取り組んでおり、ソーシャルワーカーに求められる役割については、現体制においても対応しているところ。

6. 三池港

重要港湾としての利用促進に加え、市民が集い、より親しまれる港として活用されるよう、積極的かつ具体的な取り組みを検討し、国・県や関係企業へも働きかけられたい。

【回答】

広域的な交流拠点としての利用を図るため、協議会や懇談会によるにぎわい創出の検討を進めている。

今後も、市民に親しまれる港となるよう、取り組みを進めていく。

7. 地域包括支援センター

高齢化が進み、重要性は増すことから、その充実に向け人材確保などの支援に一層取り組まれたい。

より専門性を発揮するため、関係団体等との協力・連携を強化し、効率的な運営を図られたい。

【回答】

介護サービスの専門職だけではなく、

く、生活支援コーディネーターや地域共創サポーターを配置し、センターの体制充実を図ってきた。

今後も人材確保や関係機関との連携強化に努め、住み慣れた地域で安心して過ごせるよう支援したい。

8. 地域公共交通網形成計画

十分に民間事業者等と協議し、交通弱者の配慮にも取り組まれたい。

交通空白地域解消への取組と31年度予算への反映に努められたい。

【回答】

高齢者等の交通弱者も利用可能な市内移動に向け、路線バス等の公共交通網の維持・確保に努める。

公共交通空白地域の解消に向けた取組としては、三池地区における最適な交通手段についての対応方針を定め、計画的に対策していく。

9. 平日時間外小児急患診療

市立病院でのセンター方式が一部導入されたが、土曜診療のあり方等の課題も含め、関係団体と協議・調整し、事業の安定を図られたい。

また、これまで以上に患者の受診マナー向上にも取り組まれたい。

【回答】

小児科医の負担軽減を図りつつ、必要なときに必要な医療が受けられるよう、持続可能な体制について協議・検討を行っているが、制度の維持継続には受診者の理解と協力も必要。かかりつけ医を持つことや適正受診の意識啓発も行っていく。

10. 市庁舎整備

基本方針案の策定において、本館を庁舎として使用する・しない、現地以外の検討など、比較検討資料ができ次第、速やかに報告されたい。

【回答】

アンケート調査、団体説明会、意見交換会による市民意見、庁舎整備検討委員会からの答申、これらを踏まえて、基本方針案を作成し、検討経過や考え方とともに市議会へ説明し、市民への説明会を実施した。

今後も適宜、情報公開を行い、市民意見を反映しながら取り組んでいきたい。

ぎかいの話題

本会議運営のあらまし

■平成31年度大牟田市 一般会計予算を修正し可決

2月・3月議会

平成30年度2月・3月議会は、2月25日に招集され、3月22日までの26日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、大牟田市庁舎整備基本構想策定審議会の設置、わくわくシティ基金事業などの議案34件、人権擁護委員候補者の推薦の諮問1件、意見書案の発議10件、報告3件の計48件でした。

本会議では、平成31年度予算編成に係る諸課題などに9人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

特に議論が集中した庁舎整備については、事業費を削減する内容の新年度一般会計予算に対する修正案を提出し、可決しました。

また、大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例、及び意見書案の発議の5件を除いた議案、発議をそれぞれ可決、同意、異議なき旨を答申して閉会しました。

議会日誌（1月～3月）

- 【1月】 15日 各派代表者会
18日 広報広聴委員会広報部会
25日 各派代表者会、議会運営委員会
28日 市民教育厚生委員会
29日 議会研修会
30日 各派代表者会
- 【2月】 12日 全員協議会
18日 各派代表者会、議会運営委員会
21日 総務委員会、都市環境経済委員会、市民教育厚生委員会
22日 まちづくり・活性化特別委員会
25日 第4回定例会本会議〔開会、補正・新年度関係議案上程〕、政策等調整委員会、広報広聴委員会広報部会
- 【3月】 1、4、5日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕
6日 第4回定例会本会議〔質疑質問〕、予算特別委員会
7日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
11日 各派代表者会、議会運営委員会、第4回定例会本会議〔補正関係議案採決〕、予算特別委員会
12～15日 予算特別委員会
18日 予算特別委員会、請願等調整委員会、起草委員会
19～20日 起草委員会
22日 起草委員会、各派代表者会、議会運営委員会、第4回定例会本会議〔新年度関係議案採決、閉会〕、広報広聴委員会広報部会

行政視察受入（1月～3月）

月	日	都道府県	団体名	視察項目
1	23	栃木県	那須塩原市	よかもん商店街 議会改革の取り組み
	31	大分県	白杵市	議会運営及び議会活性化の取り組み
2	1	兵庫県	西脇市	認知症への取り組み
	13	滋賀県	守山市	大牟田市居住支援協議会
3	26	滋賀県	長浜市	空き家活用・立地適正化計画

インフォメーション

■スマートフォン、タブレットでも議会中継が視聴できます。

大牟田市議会では、本会議及び予算・決算特別委員会の生中継と録画中継をインターネット配信しています。

今回、配信システムの変更により、以前からのパソコンによる視聴だけではなく、スマートフォンやタブレットパソコンからも視聴できるようになりました。どうぞご利用ください。

委員会メモ

庁舎整備の検討に関する 今後の進め方

【総務委員会】

3月25日の委員会で、大牟田市庁舎整備の検討に関する今後の進め方について、説明を受けました。

今後の取り組みとして、基本方針（案）に関する市民理解を深めるための説明や意見交換、市民意見を集約するためのアンケート調査等が検討されています。

プレミアム商品券事業

【市民教育厚生委員会】

2月21日の委員会で、消費税引き上げによる消費に与える影響を緩和し、地域における消費を喚起・下支えするため、同事業を開始するとの説明を受けました。

今年度、低所得者や子育て世帯を対象とした、プレミアム商品券が発行される予定です。

「延命公園・動物園前バス停」 の新設

【都市環境経済委員会】

3月7日の委員会で、大牟田市動物園を結ぶ路線バスの運行開始の説明を受けました。

3月23日より、大牟田駅から市立病院に向かうバスの路線を一部見直し、動物園がある延命公園（市道浄真町橘線）を運行する経路に変更することとし、「延命公園・動物園前バス停」が新設されます。

まちづくり総合プランに係る 意見・要望への回答

【まちづくり・活性化特別委員会】

2月22日の委員会で、本特別委員会で合意形成を図った8件の意見・要望について、関係課等からそれぞれの回答内容の説明を受けました。

これを受け、回答項目ごとに委員からの質問や確認を行いつつ議論を交わし、その後、委員間討議を行いました。

議案等の審議結果

議 員 名 議 案 等 名		自由民主党議員団					公明党議員団					社民・国民民主・護憲クラブ			日本共産党議員団			無所属			賛成数	審議結果				
		徳永春男	境公司（議長）	田中正繁	中原誠悟	光田茂	森電子	山口雅夫	大野哲也	今村智津子	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝	橋積和雄	北岡あや			高口講治	島野知洋	城後徳太郎	塚本二作
議案第65号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について（大牟田市庁舎整備検討委員会の廃止及び大牟田市庁舎整備基本構想策定審議会の設置）	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	1	少数否決
発議第33号	新たな在留資格制度創設を凍結・延期し見直しを求める意見書案	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
発議第34号	国有林伐採を民間開放する国有林野管理経営法改正案に反対する意見書案	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
発議第35号	沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める意見書案	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
発議第36号	幼児教育・保育の無償化についての意見書案	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	8	少数否決
発議第37号	農林水産物・食品の輸出力強化を求める意見書案	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	15	多数可決
発議第38号	統計不正問題の真相究明と信頼回復を求める意見書案	○	－	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	16	多数可決
発議第39号	拙速な日米貿易交渉に反対し、徹底審議と情報公開を求める意見書案	○	－	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	17	多数可決
発議第40号	国保への財源確保を求める意見書案	○	－	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	17	多数可決
議案第59号	平成31年度大牟田市国民健康保険特別会計予算	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	20	多数可決
議案第60号	平成31年度大牟田市介護保険特別会計予算	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第61号	平成31年度大牟田市後期高齢者医療特別会計予算	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第67号	大牟田市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第68号	大牟田市職員の勤務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第73号	大牟田市指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決
議案第58号	平成31年度大牟田市一般会計予算に対する修正案	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	22	多数可決
	平成31年度大牟田市一般会計予算（修正部分以外の部分）	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	20	多数可決

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わるできません。

下記議案等については全員賛成で可決、同意、異議なし。

議案第 50 号	平成30年度大牟田市一般会計補正予算
議案第 51 号	平成30年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
議案第 52 号	平成30年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
議案第 53 号	平成30年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第 54 号	平成30年度大牟田市水道事業会計補正予算
議案第 55 号	平成30年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
議案第 56 号	訴えの提起について（所有権移転登記手続請求事件）
議案第 57 号	訴えの提起について（所有権移転登記手続請求事件）
議案第 62 号	平成31年度大牟田市病院事業債管理特別会計予算
議案第 63 号	平成31年度大牟田市水道事業会計予算
議案第 64 号	平成31年度大牟田市公共下水道事業会計予算
議案第 66 号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について（大牟田市わくわくシティ基金事業審査会の設置）
議案第 69 号	大牟田市わくわくシティ基金条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 70 号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 71 号	大牟田観光物産館条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 72 号	大牟田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 74 号	大牟田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 75 号	大牟田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 76 号	大牟田市文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 77 号	大牟田市布設工事監督者が監督業務を行う水道の布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 78 号	筑後地域消防通信指令事務協議会を設ける地方公共団体の数の減少及び筑後地域消防通信指令事務協議会規約の変更について
議案第 79 号	大牟田市教育委員会委員の任命について〔山本和夫氏〕
議案第 80 号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔広嶋徹氏〕
議案第 81 号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔中野博氏〕
議案第 82 号	大牟田市文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について〔松原誠氏〕
議案第 83 号	大牟田市副市長の選任について〔藤井利幸氏〕
諮問第 4 号	人権擁護委員候補者の推薦について〔山岡哲氏〕
発議第 41 号	食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書案
発議第 42 号	妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書案

代表質問

市民の心が明るく希望を持てるような大牟田の未来を



自由民主党議員団
森 竜子 議員

命化や統廃合を行い、市債発行額の抑制や基本残高の確保に努める。

32年度予算編成では経常経費の3%削減を行い、財源の効果的・効

率的な活用に取り組む。

行財政運営は市民の理解を深めながら

問 当初予算の段階で財政調整基金から7億円の繰り入れが計上される厳しい財政状況の中、どのような視点で予算編成したのか。

答 事業の廃止や休止、事業費の縮減を行う一方で、積極的な事業展開を行い、誰もが住みやすくあらゆる世代が成長できるまちづくりを進める必要がある。そのため、新規・拡充事業も計上しながら、まちづくり総合プランに掲げる、人が育ち、人でにぎわい、人を大切にするほっとシティおおむたの実現に向け取り組む。



問 財政負担を将来、子供や孫に背負わせることになるのではという不安もあるが、財政構造強化指針における今後の見通しと対応策は。

答 将来世代へ負担を先送りしないため、公共施設の長寿

市庁舎整備の議論はスタートしたばかり

問 庁舎整備に係る市民アンケートは改修して維持、建て替えてもよいの二択で本館の活用方法を検討する選択肢がない。これで市民意見を反映したと言えるのか見解は。

答 庁舎をどうするかという議論を進めてきた中で、アンケートでは庁舎の持つ歴史性やシンボル性を十分説明した上で、回答いただいている。

問 基本方針案の説明会で出された市民からの意見・要望についてどう対応するのか。

答 様々検討した結果、現在の敷地を総合的に活用して一体的に庁舎を整備する方が市民の福祉につながると考える。意見はしっかり受けとめ、

市民理解を深め、進めたい。

問 基本方針案は2月に示されたばかりで、まだ議論の過程にある。様々な意見・要望、データ不足が指摘される中、現状での是非を問うのか。

答 様々なシミュレーションなどを経て方針を出しており、議会の理解を得て進めたい。

絵本ギャラリー運営は有効な活用方法が重要

問 絵本ギャラリーを有効に活用していかなければ運営費も含め、計算通りにはいかない。絵本に限らず、郷土出身の漫画家や作家、スポーツ選手など、多方面で活躍している方の企画展や他の施設、商店街等と連携したイベントの開催なども必要なのでは。

答 関係団体の皆さんにも十分意見を聞きながら、具体的な事業も検討したい。

問 市民が親しみ、みんなで活用し、育てる施設となるよう名称を募集してはどうか。

答 来園者に親しまれる名称を市民公募も含め検討したい。

学校再編整備では市民意見の反映を

問 学校再編整備の中間見直しに当たって市民から出された意見をどう反映するのか。

答 学校の規模、通学距離や区域、学校施設の整備などの様々な意見・要望を参考とし、将来に向け、よりよい教育環境を描きながら取り組みたい。

学童クラブの利用時間延長はモデル的に実施

問 地域ニーズなども踏まえ、実施可能な所からモデル的に学童保育所・クラブの利用時間延長に取り組めないか。

答 労働条件や人員確保などの課題への対応を検討していく中で、モデル的な実施も選択肢の一つとして考えている。

未来を見据えた まちづくりを



公明党議員団
今村 智津子 議員

市庁舎整備に関する 基本方針(案)

問 庁舎整備検討委員会の答申を受けてから、その後の基本方針(案)を出すまでにどのような検討を重ねられたのか経緯を聞きたい。

答 本市の将来にわたるまちづくりとの整合を図りながら、庁舎の整備により、庁舎が備えるべき機能にどれほど対応できるかを重点とし、実現可能性の検証や概算事業費の算定を行いながら検討を進めてきた。また、登録有形文化財である本館については、庁舎としての活用のほか、公共施設として活用した場合、さらには民間施設として活用した場合の庁舎以外での活用についても検討をしてきた。その結果を方針案にまとめた。

問 登録有形文化財の本館の活用策など、今後の方針は。

答 正面玄関の館銘板、旧貴賓室にあるマントルピース、屋上の防空監視哨などは、具体的な移設、保存内容を今後、基本構想や整備計画を具体化していく中で市民意見等を参考にしながら決定したい。

問 庁舎整備基本構想策定審議会のメンバーは15名と聞いているが、どのような人材を起用されるのか。

答 学識経験者の方、市民

の公募委員、経済団体や福祉団体などの各種団体からの推薦などによる構成とともに、将来を担う若い世代の方も参画できるよう工夫したい。

問 32年度までに実施設計に着手すれば市町村役場機能緊急保全事業債を活用できるというが、財源に対する考えは。

答 仮にこの事業債が活用できる場合、国からの交付税措置を14億1,000万円ほど試算しており、大変有利な財源である。速やかな事業の推進に努める一方、対象期間の延長など用件緩和等も要望したい。



絵本ギャラリーイメージ模型

絵本ギャラリーの整備

問 一年前に基本設計について提案され、その後見直されたが、管理運営について聞きたい。

答 絵本や原画の常設展示を年に数回展示替えを行うほか、

動物や絵本などに関する様々な企画展示を行いたい。施設のスタッフは2～3名予定、2年から3年程度は市で管理運営を行い、その後、指定管理者による管理運営に移行し、経費削減等に努めたい。

問 動物園と絵本ギャラリーという全く特性の異なるものの運営を考えると、指定管理者は分けて考えた方がいいと思うが見解を聞きたい。

答 指定管理者の公募については、動物園と絵本ギャラリーのそれぞれの特性を生かすよう、募集の仕方を検討し、適切な業者を選定したい。

問 情報発信と当局の決意について見解を聞きたい。

答 動物園の中にある絵本美術館(ギャラリー)ということで、全国的にも類がない施設となることから、広く県内外に向けてPRに努め、交流人口の増加とまちのイメージアップにつながるよう積極的に事業を進めたい。

学童保育所・クラブの充実

問 待機児童の現状と今後の対応について見解を聞く。

答 31年1月時点で待機発生校区が2校区、待機児童が9人となっている。厳しい財政状況の中だが、今後も各校区の利用希望状況を注視しながら、第2学童クラブの整備、民間放課後児童クラブへの補助、定員の増等、校区の状況に応じた手法で待機児童解消に取り組みたい。

代表質問

人にやさしく活気ある大牟田を



業団地整備の具体的な取り組みとスケジュールは。

答 早期整備に向け、地権者をはじめ福岡県や関係団体等と協議を重ねていく。

が市の財政負担となるが、どれくらいの負担増になるのか。

答 試算では3,500万円程度。今後、変動していくと考える。

問 市や現場は大混乱すると思うが、市長の見解は。

答 翌年4月に先送りすべきと意見したが、国は10月実施を目指すとのこと。自治体は困っている。当初予算にも関係経費は盛り込めていない。

再発言 行政、事業者、保護者や市民も含めて、混乱がないように対応されたい。

市庁舎整備

問 庁舎整備検討委員会の元委員長ら2名からの抗議文は大変重いと思うが、見解は。

答 検討委員会の答申が十分反映されていないという趣旨の文書をいただいたが、私どもと見解について相違がある。

問 市民説明会を5回開催し、説明はできていると思うか。

答 十分な周知にはまだまだという認識。市民への周知の仕方は今後も検討していく。

問 予算案を議会が修正・否決した場合はどうするのか。

答 判断は重く受け止める。この方針案はいわばやむを得ざる選択。理解いただきたい。

再発言 もっと市民の意見や専門家の意見を交えた十分な議論、対応を要望する。

新年度予算の
主な建設事業と課題

問 新栄町駅前地区市街地再開発事業の今後の進め方は。

答 新たな施設計画や資金計画など再開発事業の推進に必要な計画を策定する予定。

問 新大牟田駅南側地区の産

市内企業への
就職支援の取り組み

問 本市では、どの業種でも人手不足が深刻化しているが、本市の現状は。

答 人手不足が続いており、また職種によって求人と求職のミスマッチが生じている。

再発言 人口減少に歯止めをかけるためにも、地元就職に今後も努力してもらいたい。

改正出入国管理法

問 4月施行の改正入管法について、当局の見解は。

答 本市においても影響があると考えますが改正の詳細が示されていない。まずは国や県と連携し情報収集に努める。

幼児教育・保育の無償化

問 10月に消費税が10%に引き上げられ幼児教育・保育が無償化されるが、進捗状況は。

答 課題は山積しているが円滑な実施に向け、国への要望と情報収集を行っていく。

問 来年3月までは国が全額負担、2年目以降は4分の1

国際大会の
事前キャンプ誘致

問 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ地誘致についての取り組みの経過は。

答 競技種目を絞り県と連携し、相手国と交渉している。誘致が実現するよう取り組む。

問 熊本で11月から開催される2019女子ハンドボール世界選手権大会の事前キャンプ地誘致に対する見解は。

答 現時点で各地で事前キャンプを行うチームの情報はないが、今後とも福岡県と連携して情報収集に努めていく。

再発言 明光学園や市内の女子ハンドボール部と世界の一流選手が交流できるようにお願いしたい。



市民生活の実態から国民健康保険税・介護保険料の引き下げを



日本共産党議員団
北岡 あや 議員

国保税の引き下げを

問 生活が非常に厳しい市民の多さ。年金が少ない、非正規で働く人たちの増加と不安定かつ低賃金で働く人が多い。国民健康保険税を滞納している人も多くなっている。

本市の課題は。

国保税滞納世帯数（29年度）
1,632世帯 割合で9.18%

答 国保の保険給付費に要する費用は、基本的には50%を公費が負担し、残り50%は税として被保険者が負担している。

本市の課題は、全体として被保険者数約2万7,000人に対し、高齢者が占める割合が47%、約5割であること、一方で被保険者の半数以上の63%が、所得がなかったり基礎課税額以下であったりと低所得者の方が大変多く、厳しい財政状況にある。

問 どんどん上がっていく国保税をくいとめる施策、例えば一般会計からの法定外繰入などを求めるがどうか。

答 国保の保険者以外の負担への影響、福祉行政サービスへの影響があることから、今後も決算等補填目的に行う予定はない。

再発言 今の被保険者の生活実態を見ると、国への公費負担拡充はもちろん、あらゆる手段で国保税の引き下げの具体化を求める。

介護保険料の値下げを

問 社会保障費の給付の抑制の法改正により、在宅で介護が受けられなくなった、サービスを減らされた人たちの生活は深刻で、納める介護保険料が高すぎる。介護保険料についての現状と課題は。

答 本市における介護保険料の基準額は、制度開始時、第1期3,040円だったが、今般第7期では6,220円で、介護保険制度は、給付費がふえれば保険料は増額する構造になっている。本市の保険料が上昇した主な理由は、第1期において3,461人だった要介護者が、第7期では7,641人となり、それに伴い介護サービスの給付費が大きく増加していること。

保険料の上昇を抑えていくために、介護予防事業を積極的に推進し、また介護給付費の適正化に努めていく。

介護保険料の滞納者数
1,340人（31年度1月末現在）
生活困窮による保険料の減免（市の独自減免）69件

再発言 介護保険料の問題は、介護保険制度の枠を超えて、今後この大牟田のまちで年をとっても安心して暮らしていけるまちなのかどうかという視点で考えるべき。一般財源を含めた検討を要望する。

学童保育所の支援員の処遇改善を

問 学童保育所の待機者、また潜在的な待機者も多い中で、学童保育所の整備や時間延長の要望が多数上がっているが、実現できない理由として支援員の確保が困難なことがある。保育士の処遇改善が追いついておらず、また他の自治体が独自の保育士確保策を実施している中で、大牟田における支援員不足はより深刻になる。

支援員の処遇を改善させた指定管理料・業務委託料にするべきではないか。

答 安定的な事業継続ができるよう、国・県の動向を踏まえ、見直しの検討を行っていききたい。



一般質問



自由民主党議員団
光田 茂 議員

(仮) 大牟田市総合体育館 建設整備

問 老朽化した市民体育館の整備について、どのような姿勢で取り組んでいくのか。

答 新しい体育館建設の早期

実現に向け、まずは建設場所を延命公園に決め、平成31年度には、基本計画を策定していく中で、施設の機能、規模などを整理していきたい。

問 当局として、どのような体育館を目指しているのか。

答 新しい体育館は、現在と同様に各種スポーツ大会の開催はもとより、市民の健康づくりの拠点にもなる施設としたい。また、トップクラスのゲームが開催できれば、子供がスポーツへの夢や目標を持つ契機としても期待できる。



公明党議員団
大野 哲也 議員

住みたくなる大牟田を 目指すための方策

問 次期総合計画にSDGsの視点を盛り込む考えは。

答 押さえるポイントの5項目中の1項目に、SDGsに

ついて盛り込みたい。

問 ESDの地域拠点として国際的なネットワークに参加する意義は。

答 ESDを進めるための拠点に認定されることで、国連大学と連携してSDGs達成に向けたESDを推進することになり、世界各国でESDに取り組む方たちと交流、協働する場が提供される。

さらに情報交換や具体的な取り組みの共有がなされ、国際的な連携を持つことができ、ESDの一層の充実を図るこ

企業誘致

問 新たな企業の進出や地域企業の設備投資は、市の税収確保となることから大きな効果が見込まれるため、新大牟田駅南側の産業団地の早期整備をすべきでは。

答 早期整備に向け、地権者を初め、県や関係団体等と協議を重ねながら、今後は、各種法手続や用地の取得、造成工事などを進め、平成35年度の完成を予定している。

とができると考えている。

問 (仮称) 大牟田未来共創センターへ参画する意図は。

答 共創センターに参画し、民間と協働して地域包括ケアシステムや地域共生社会を実現すれば、本市は我が国のみならず、世界のリーディング都市としての評価につながり、アクションプログラムに掲げる地域認知症ケアの人材育成という範疇を超えて、本市の創造的で持続的な発展に寄与するものとして、大いに期待できると考えている。



社民・国民民主・護憲クラブ
平嶋 慶二 議員

絵本ギャラリー整備の 署名についての市長見解

問 新聞報道などもあり市民の関心も広がりつつある中、絵本ギャラリー整備の一旦白紙を求める署名が行われてい

るが、市長の見解を伺う。

答 市民への周知不足などの御指摘も受け、反省すべき点と感じている。市のホームページ等を活用して情報提供し、御理解を得ながら進めたい。

問 絵本ギャラリーの目的は。

答 市民が心豊かで充実した生活を送ることができる文化の薫るまちを目指し整備する。

再発言 この整備は子供たちのためだろうと思うが、絵本ギャラリーがあって児童館がないのはおかしいと思う。児童館の設立を強く望む。

消防職員のストレス対策

問 本年1月22日の秋田県能代市の火災にて2名が殉職されるなど、苛酷な実態であるが、ストレス対策は。

答 惨事ストレス対策マニュアルの策定、国が作成したパンフレットの全職員配布、産業医による惨事ストレスに関する研修などを実施している。

再発言 家族の心労も含めたフォロー体制、心のリフレッシュなど対策の検討を求める。



日本共産党議員団
高口 講治 議員

市民生活の困難直視を

問 本市労働者の所得状況は厳しく、賃金水準は県内でも安価。消費税増税賛成の立場はやめるべきでは。

答 増税で消費が減退すると思うが、持続可能な社会保障制度の構築に必要。国民が等しく受容すべきものと考える。

国保の負担軽減を

問 国保世帯の保険料負担率は組合健保の1.7倍。市民の負担感をどう見ているか。

答 負担割合は大変高いが、軽減制度等の公費投入もある。

保護制度は憲法に保障された権利

一般質問・トピックス

問 社会保障の理念の実践のため、生活保護のしおりに「健康で文化的な最低限度の生活保障」と行政は記載すべき。

答 そのような形で、今般の改訂に盛り込みたい。

自衛官募集業務協力中止を

問 本人が知らないうちに住民基本台帳から個人情報提供されることは許されない。

個人情報保護条例の中止請求権の行使ができないか。

答 議論があるところと思う。



自由民主党議員団
中原 誠悟 議員

本市の災害対応力の強化

問 受援計画を検証する訓練の内容はどのようなものか。

答 まず、応援要請受け入れに関する手順の確認、応援機

関と共同で対応を検討する図上シミュレーション訓練、次に、課題への対応策を検討するグループワークを実施した。

問 職員が得た成果と課題は。

答 成果は、支援内容、準備やマニュアルが有効に機能したかの確認、職員が課題を感じ取ったことなど。課題は、受援シートの再検討や見直しが必要とわかったことなど。

三池港小型船だまりの整備

問 小型船だまりの整備の進

捗状況は。

答 世界遺産価値に配慮した整備方針について、関係機関と協議・検討を行っているが、方針の決定には至っていない。

問 漁業者への何らかの対応、手だても必要ではないか。

答 早期整備について、様々な機会を捉え、要望活動を行っている。引き続き、小型船だまりの整備が円滑に進められるよう地元関係者との調整を図るとともに、国及び県と連携し、取り組みを進めていきたい。

研修会で生きた政策を生み出す条件学ぶ

市議会では議員の監視能力や政策形成能力の向上を目的に議会研修会を行いました。

1月29日、森民夫氏（前新潟県長岡市長）を講師に招き「地域発の生きた政策～アオーレ長岡を中心として～」をテーマに開催しました。

森氏は長岡市長を18年間、全国市長会会長を4期8年間務め活躍。現在は、筑波大学・近畿大学の客員教授。

研修会では地域発の生きた政策を生み出すための条件として、地域の特性を生かすことや、国・県・市などの縦割り横割りの隙間を埋めること、行政と市民の協働を最大限に生かすことなど、長岡市で取り組まれた事例を踏まえながらお話いただきました。



地域に根差した政策では新潟中越地震後の災害復興で風土に適した中山間型復興住宅を開発したこと。縦割り、横割り政策の隙間を埋めた事例として、教員の資質や指導力向上を図る教員サポート錬成塾の実施。行政と市民の協働を最大限に生かす拠点として市役所とイベント空間が同居した施設「アオーレ長岡」の建設決断から完成までについてなどお聞きました。

今後の議員活動の中で生かしていきたいと思っています。

おおむた自慢

大牟田舞台の映画、製作される

動物園での人の成長と命を描く



＜オーディションに1,000人を超える応募＞

当初のタイトル「僕のケモノート」（仮題）で出発した大牟田を舞台とする地方創生映画には、地域キャストオーディションに1,000人を超える応募がありました。昨年10月に公開された東広島市を舞台にした映画「恋のしずく」のオーディションでは900人台だったので、大牟田は過去最多の申し込みだったそうです。オーディション参加者の年齢は0歳から99歳までと幅広く、なかにはプロの俳優も応募していたそうです。

＜正式メインタイトル決定＞

平成30年12月25日、それまでタイトル「僕のケモノート」（仮題）であったものが、正式メインタイトル「いのちスケッチ」と発表されました。

瀬木直貴監督によると「『ち』と『チ』で韻を踏み、7文字で心地よい軽やかなリズムが特徴で大牟田の過去の暗いイメージを払拭する映画で、明るいイメージのタイトルが受け入れられやすい。」とのこと。

＜大牟田舞台の映画と地元応援＞

大牟田が舞台の映画「いのちスケッチ」を資金面で応援するプロジェクトもスタートしました。



実行委には観光協会やJ A南筑後、文化連盟、小中PTA連合会、校区まちづくり協議会など市内21団体が参加し、製作費や広告宣伝費として地元企業からの協賛金のほか、各個人からも応援いただいています。

＜「いのちスケッチ」製作発表＞

2月25日、福岡県南に新しい風を吹かせるため、大牟田市動物園をモチーフにした映画「いのちスケッチ」の製作発表とメインキャストの発表が行われました。メインキャストの中に大牟田出身の林田麻里さんも飼育係役に選ばれました。



＜「いのちスケッチ」撮影順調＞

2月28日クランクインした映画「いのちスケッチ」のロケは順調に進み、3月9日には報道陣に公開されました。

また、大牟田を舞台にした地方創生ムービー「いのちスケッチ」の撮影を支援しようと地元の皆さんが、ロケ地等で炊き出しをして撮影を応援しました。



＜「いのちスケッチ」撮影終了・今秋、公開予定＞

大牟田市動物園を舞台にした映画「いのちスケッチ」演技部分の撮影が、3月16日クランクアップし、地域キャストたちが動物園入口前で行き交うシーンが撮影されました。終了後には花束の贈呈が行われ撮影の労をねぎらい、完成への期待を込めました。

公開は今秋の予定です。

編集後記

平成から令和になって初めての市議会だよりとなりました。市議会も新しい体制となり、大牟田市も市制100周年を超えて、新しい100年への新たな歩みを開始しています。今後も議会が真に市民の代表として機能するためにイチロー選手のように「後悔などあるはずがありません」と言える努力をしています。

(T)

■編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】橋積和雄 【副委員長】古庄和秀

【委員】光田茂 森竜子 今村智津子 大野哲也 塚本二作

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

■印刷 精巧印刷株式会社